

GREEN RANGER NEWS

2015年2月号

Vol.263



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
Tel & Fax 0224-25-3820
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■ 2月の活動報告

[スノーシューで歩く冬の植林地]2月28日

2月28日恒例のスノーシューを履いて植林地を散策する会を行いました。参加者は亶理町で防潮林を再生させるために頑張っているグループ(亶理グリーンベルトプロジェクト)の事務局を担っている方々と、その仲間達6人とブナの会から4人の10名で最近では大人数でした。

当日は正に晴天のなか仲村さんの説明を聞きながら、普通なら藪で通れないようなコースを自由自在に歩き回り、リスの巣を見たり、アナグマの穴を探したりと十分に楽しみました。亶理町からの参加者は口々に、雪の消えた時節に来ることを約束してくれました。楽しみにしています。

(以上、古館さんのレポートでした。)



小屋の前でスノーシューを装着



植林地へいざ出発



存在感あるヤドリギ

■ 3月の活動案内

[定例会]

開催日 3月8日(日)

集 合 場所のわからない方、JR 利用の方

白石市役所駐車場 9時30分

自力で来られる方 作業小屋 10時

内 容 標識の杭へ防腐剤を塗ります

※ 雪のため作業が出来ない可能性があるので、事務局にご確認下さい。

[理事会]

開催日 3月8日(日) 14時~16時

会 場 JR 船岡駅2階コミュニティプラザ

協議事項:看板内容の確認、ツリーハウス、On japan のイベントの内容

[森の教室]

開催日 3月22日(日)

集 合 作業小屋 10時

内 容 看板の最終確認、パンフレットの最終確認、樹名板設置



花芽を膨らませたコブシ

森づくり自然園の開設にあたって

仲村 得喜秀

今年については「森づくり自然園」が開設されます。今まで当会が活動してきた事の集大成といえる大きな節目の年という事にもなります。当地での植林は2002年からですから、今年で13年目という事になります。まだまだヤマハンノキの傘の下を抜け切っていないブナやミズナラ達ですが、今後の成長を見届けるための施設という事になります。今までは植林された苗木たちが大木になって伸びていくための準備期間だったと思います。今後10年間で劇的に変化していくものと予想しています。その姿をなるべく多くの人達に見てほしいのです。ここではその意義や目的についても触れてみたいと思います。

まず、なぜ「森づくり」という言葉が必要なのか、「先駆性樹木(根粒菌あり)混植法」の看板が必要なのかという事についてです。会員の皆さんにもこの辺はよく理解してほしいと思っております。植林する前の植林地は、スキヤ笹の荒地だった事は皆さんもよく知っていると思います。あの中にヤマハンノキを用いず、ブナやミズナラを植えたらどうなっていたんでしょうか。今のように、林床にスマレの群落ができるまでの森には、とうていあってはいなかったはずで、ヤマハンノキの根粒菌が土壌を肥やし、地上部ではいち早く伸びて、寒さや風を防いでくれた事が今の姿を作り出してくれた最大の原動力なのです。この事を忘れずにはヤマハンノキに対して申し訳ない、失礼な事になるのです。例えて言えば、あの震災から4年、現在各地で復興が進んでいますが、これまでどれ程のボランティアの人達の手助けがあったことでしょうか。ヤマハンノキは森が復元する時のボランティアと同じ役割をはたしているのです。最後はブナやミズナラたちにとって変わってしまうのです。このボランティアとしてのヤマハンノキの役割を私は忘れてほしくないのです。樹木の銘板だけの自然観察路では、どこにでもある観察路と同じになってしまいます。ブナやミズナラだけが主役として残りますが、その過程での先駆性樹木(パイオニアプラント)の役割も知ってもらう必要があると思うので、皆さんは難しいからとちょっと引いていますが、私はやはり看板にして内容を伝えていく必要があると思っています。

また「有用針広混合林」の実験区についてもちょっと触れてみます。この実験区はリスの森の一面に1000㎡の広さを持っています。2005年にまずスギを植えています。その後2~3年かけて、ケヤキ、オオバボダイジュ、ミズナラ、ブナ、トチ、カツラなどを植林しました。目的は現在の林業は針葉樹のみで行なわれていますが、これは環境問題を考えるといい方向とはいえません。それと針葉樹の持つ直伸性を利用して、有用広葉樹も直伸させて直伸材を作るという目的もあります。これについては残念ながら私が思った程広葉樹は直伸してくれていません。難しさを感じていますが、先の長い話なので楽しみながら見守っていきたくと思っています。

2月8日、名取駅のコミュニティセンターで総会があり、森づくり自然園についても色々な話し合いがもたれました。一番の問題は当会の受け入れ体制であると思います。それで、とりあえず5月からオープンをしてみて、1年間問題点を確認して、それから対処を考えるという事になりました。そのために必要な事は、観察路の案内をできる人の養成という事になります。今現在、毎月第4日曜日は「森の教室」が行われていますが、今年は会員の皆さんも参加してほしいと思っています。案内できる人が増えれば、この森の用途も増えてくると思います。

○マイツリー制度、○森林セラピー、○社会弱者の受入れ、など、他団体との横のつながりができれば、たくさんの人に利用していただける施設になると思います。私は昨年、シドケ、アイコ、クルマユリ、カワラナデシコ、オミナエシ等、植林地の中で咲いて実をつけた草花の種子を適地と思われる場所に蒔いて歩きました。結果がどうなるか分かりませんが、ここでもクルマユリが咲いたらとか、アイコが採れたらとか考えながら蒔きました。とても楽しい時間でした。また意味もなく、ただ植林地の中を歩き回っています。今年も同じような事をするのだと思っています。

白石市政50周年記念の植林後、3年間位はヤマハンノキ以外どこに植林苗があるのかわからないような状況が続きました。決して順調な森づくりとは言えなかったと思いますが、私達にとっては様々な可能性を持った宝物と言っていい場所となりました。これから色々な事があると思いますが、楽しみながら活動していく事が一番大事な事だと思っています。